



伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 立石 誠 幹事 平出吉範 会報委員長 宮下金俊 第2822回例会 2018.4.26 No.1484



ロータリー：
変化をもたらす

2017-18年度RIテーマ

ROTARY :
MAKING A
DIFFERENCE

ソング それでこそロータリー

ビジター・ゲスト紹介

高遠郷土歴史研究会会員 矢澤章一様

会長談話

4月24日下枝会員のお母様の告別式に参列してまいりました。会員の皆様より10件ほどの香典をお預かりして行って来ました。17日に倒れられて、その後20日にご逝去されました。享年94歳で長生きされました。下枝会員よりくれぐれも宜しくと申されました。

幹事報告

- 5月のロータリーレートは\$1=108円です。
- 松本城ロータリークラブより、事務所移転のお知らせが参りました。
 新住所 〒390-0815 松本市深志2-3-14
 (4月27日より)

【5月のプログラム】 青少年月間

- 3日(木) 休会(法定休日)
- 10日(木) クラブフォーラム(青少年) 伊那RAC今年度活動報告 ※13:35 次期クラブ協議会
- 17日(木) 20日(日) ~振替
- 20日(日) 環境保全・伊那RAC合同例会(会場・時間変更)
- 24日(木) 現・次期委員長引継・委員会反省会 ※13:35 理事会
- 29日(火) 伊那中央RC合同夜間例会(会場・時間変更)
- 31日(木) 29日(火) ~振替

☆お知らせ

- 5月10日例会終了後、次期クラブ協議会を開催いたします。次期役員・理事・委員長の方はご出席をお願い致します。(例会場)

出席報告 会員数57名 内出席免除20名 長欠1名 出席者28名 事前ミーティング5名 出席率71.73% 前々回100%変更なし。

ニコニコボックス

立石 誠 矢澤さん2度目の卓話ありがとうございます。

清水紀光 矢澤さんようこそお越しくださいました。2回目の卓話になりますが、本日も宜しくお願い致します。

山田 益 4/25 宮田村商工会総会において無事会長を退任する事が出来ました。

三沢清美 長男三沢俊明が、皆様のご支援のお蔭をもちまして、議員となりました。ありがとうございます。初志者ですので今後とも宜しく願い申し上げます。

下枝正一 母の葬儀には大変お世話になりました。

矢澤章一様より、卓話の御礼をニコニコボックスにいただきました。



卓話 高遠郷土歴史研究会会員 矢澤章一様

演題 - 「高遠藩内藤家と阪本天山」 -

(ご紹介者 清水紀光情報・プログラム委員長)

昨年の12月にお越しいただき、「高遠城と歴代藩主」のお話をさせていただきました。その時に大変好評でもっと聞きたいという希望があり、2回目の卓話をお願いすることになりました。宜しく願い致します。

今回2度目の卓話となります。本日は、阪本天山の名前はご存じでしょうか、何をした人かお話ししたいと存じます。



高遠公園の地図は池上典さん、元造幣局に勤めていた方で、緻密な図面を描いていただいたものを使用しております。矢印の所、高遠公園入口の坂の下の交番のあるところが阪本天山の住居でした。天山と言えば鉄砲が有名ですので、鉄砲の話を行います。天文12年、鹿児島の子島にポルトガル人が漂着した。彼らは鉄砲を所持しており、二千両（二億円）を出して買い求めた。その後、火薬の調合や、ネジの研究を重ねて1年後「10丁」が完成した。

阪本天山の話に戻りますが、内藤家三代目の内藤頼由の延享2年5月22日（1745年）高遠荒町で天山が生まれる。家督を継いでから、父の教える鉄砲術学を学び、その後

- ・明和5年大阪の荻野流宗家である荻野照良先生を訪ねた。暫く逗留して荻野流砲術の極意を習得していった。戦いの想定のない「砲術学」に飽き足らず、暇を貰って高遠に帰る。
- ・明和7年天山26歳、藩主内藤頼由の参勤交代で、江戸お供を命ぜられる。江戸屋敷滞在中に荻生徂徠の学を継承する「大内熊耳先生」に学ぶこととなる。
- ・明和8年、君主について高遠へ帰った。高遠へ帰った天山は「師・大内熊耳」から学んだ儒学の勉強にいそしみ、更に知識を高めた。藩の役、御番方としての勤めに励む。やがて、真面目な勤務態度や、文武に秀でた才能が認められ、御武具奉行に任命された。
- ・安永7年、念願の新式大砲の開発に傾注し、「砲筒回転式・周発台」という新式大砲の発明に至った。二台の砲身を必要としない、一台で間に合うよう砲台の上下の発射角度を自由に調節出来、また、左右変換できる架台を考案し、「周発台」と名付けた。射撃演習は成功を發揮し、藩主の知る事となり、「御徒士頭」に任命される。
- ・天明3年（1783年）高遠藩の郡代に任命された。その後失脚へと追い込まれ、蟄居となる。
- ・寛政7年（1795年）諏訪高島藩から「砲術指南」の要請が来た。諏訪藩へ出向いた天山は「銃砲の砲身鑄造法」「火薬の製法」「大砲の取り扱い」「火縄銃の砲術」等砲術全般に渡り全て伝授。かくして天山の砲術奥義は諏訪藩へ移行された。